

講義科目名称： 生と幸福

授業コード： 11205030

英文科目名称： Human Life and Well-Being

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2・3・4	2	選択
担当教員			
橋爪 大輝			
区分	科目番号	曜日・時限	
		月曜・3限	
添付ファイル			

対象学生	全学部		
授業の目的	この授業では、「幸福とはなにか」という問いに哲学的な角度から迫っていく。 幸福は、哲学におけるもっとも古いテーマのひとつである。哲学において幸福がどのように考察されてきたかを歴史的にも見ていくことで、この問いへのさまざまな答えかたを考えさせることが、この授業の目的である。		
学士力A	教養力		
学士力A (ウエイト)	○		
学士力B	思考力		
学士力B (ウエイト)	○		
学士力C	倫理・シティズンシップ力		
学士力C (ウエイト)	◎		
学士力D			
学士力D (ウエイト)			
学士力E			
学士力E (ウエイト)			
学士力F			
学士力F (ウエイト)			
学士力G			
学士力G (ウエイト)			
学士力H			
学士力H (ウエイト)			
到達目標No. 1	「幸福」という概念を哲学的に理解できる。哲学や哲学史の基本知識や基本的な考え方を修得する。		
到達目標No. 1 (学士力対応)	学士力A、学士力C		
到達目標No. 2	授業で理解したことに基づいて、自分なりの「幸福」についての考えをもつことができ、それを学術的な文章で表現できる。		
到達目標No. 2 (学士力対応)	学士力B		
到達目標No. 3	積極的にみずからの思考を展開できる。		
到達目標No. 3 (学士力対応)	学士力B、学士力C		
到達目標No. 4			
到達目標No. 4 (学士力対応)			
到達目標No. 5			
到達目標No. 5 (学士力対応)			
成績評価の方法	評価の方法	割合 (%)	評価の基準
	目標No. 1	40%	期末レポート

	目標No. 2	40%	期末レポート
	目標No. 3	20%	平常点
授業の方法	基本的に、担当教員による講義が中心である。 各回の授業後にコメントシートを回収し、そのつぎの回に意見や質問などを取りあげ、回答する。 また、授業内でリアルタイムのアンケートを行うことで、受講生の意見を反映したい。		
受講に際して・学生へのメッセージ	とくになし。 質問には、授業内に（可能であれば）設ける質疑の時間に回答します。 また各回のコメントシートにたいして、つぎの回に回答します。 授業内で質問可能なメールアドレスを提示する予定です。		
教科書	テキスト	教科書は使用しない。担当教員が作成した資料を毎回配布する。	
	参考書	授業内で適宜紹介する。授業全体に関わるものとしては、偶然にもタイトルと発行年が同じの次の二著。長谷川宏『幸福とは何か』中公新書、2018年、森村進『幸福とは何か』ちくまプリマー新書、2018年。	
授業計画の概要	1		
	タイトル	イントロダクション	
	授業内容	全体の導入として、哲学について、幸福について説明する。	
	事前学習	自分がどのような幸福のイメージをもっているか、じっくり考察すること	
	事後学習	授業内容を振りかえり、ノートやプリントを見返すこと。	
	2		
	タイトル	幸福とは〈善く生きる〉こと？	
	授業内容	古代ギリシャのソクラテスの幸福観について学ぶ。	
	事前学習	ソクラテスについて事典等でかんたんに知っておくこと。	
	事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみる。	
	3		
	タイトル	哲学者がいちばん幸福？	
	授業内容	古代ギリシャのアリストテレスの幸福観について学ぶ。	
	事前学習	アリストテレスについて事典等でかんたんに知っておくこと。	
	事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみる。	
	4		
	タイトル	幸福とは快楽のこと？	
	授業内容	エピクロスの幸福論について学ぶ。	
	事前学習	エピクロスについて事典等でかんたんに知っておくこと。	
	事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみる。	
	5		
	タイトル	どんな苦境でも幸福になれる？	
	授業内容	ストア派の幸福論について学ぶ。	
	事前学習	ストア派について事典等でかんたんに調べておくこと。	
	事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみる。	
	6		
	タイトル	幸福は神にあり？	
	授業内容	中世のキリスト教の神学者たち、アウグスティヌス、トマス・アクィナス、ドゥンス・スコトゥスらの幸福論について学ぶ。	
事前学習	中世のキリスト教の神学者たち、アウグスティヌス、トマス・アクィナス、ドゥンス・スコトゥスについて調べてみる。		
事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみる。		
7			
タイトル	古代・中世の幸福論を振りかえる		
授業内容	第2回から第6回の授業内容を振りかえり、その幸福論を総括する。		
事前学習	第2回から第6回で学んだ内容を独自に復習し、疑問点などを整理すること。		
事後学習	ノートやプリントを見返し、また授業内で予告する次回以降の授業内容の予告をもとに、その内容を予習すること。		

	8	タイトル	最大多数の最大幸福を目指すべきなのか？
	授業内容	功利主義（ベンサム・ミル）の幸福論について学ぶ。	
	事前学習	功利主義について事典等でかんたんに調べておくこと。	
	事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみること。	
	9	タイトル	義務は幸福にまさるのか？
	授業内容	幸福よりも義務を優先すべきとするカントの考えを学ぶ。	
	事前学習	カントについて事典等でかんたんに調べておくこと。	
	事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみること。	
	10	タイトル	幸福に豊かさは必要？
	授業内容	アダム・スミスの幸福観について学び、経済と幸福の関係を考える。	
	事前学習	アダム・スミスについて事典等でかんたんに調べておくこと。	
	事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみること。	
	11	タイトル	変わりゆく幸福？
	授業内容	一種の「ハウツー本」のようなあり方をしている近代の幸福論について学ぶ。	
	事前学習	ショーペンハウアーとヒルティについて事典等でかんたんに調べておくこと。	
事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみること。		
12	タイトル	幸福は身近なところから？	
授業内容	一種の「ハウツー本」のようなあり方をしている近代の幸福論について学ぶ。		
事前学習	ラッセルとアランについて事典等でかんたんに調べておくこと。		
事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみること。		
13	タイトル	幸福の三つの捉え方？	
授業内容	現代の幸福の哲学を学ぶ。		
事前学習	現代幸福論について事典等でかんたんに調べておくこと。		
事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみること。		
14	タイトル	後半のまとめ	
授業内容	第8回から第13回の授業内容を振りかえり、その幸福論を総括する。		
事前学習	後半の授業の内容を、プリントやメモを使って振り返り、自分なりに整理しておくこと。		
事後学習	ノートやプリントを見返すとともに、授業内で紹介した本について調べてみること。		
15	タイトル	全体のまとめ：〈私〉の幸福論	
授業内容	授業全体を踏まえて、あらためて「幸福とはなにか」を考え、〈私〉（＝担当者の橋爪）が現段階で到達している幸福論について概説する。		
事前学習	ここまでの14回の授業内容をノートやプリントなどで振りかえり、疑問点等を整理しておくこと。		
事後学習	授業内容を振りかえり、そして幸福論の哲学書を実際に読んでみる。		
実務経験のある教員による授業科目の概要			

備考	
----	--